

みんな育てる福祉のこころ



1人は万人のために 万人は1人のために



第641号

発行日 毎月20日
定価一部 15円

※会員の購読料は
会費の中に含む

(一社)佐賀県労働者福祉協議会 佐賀市神野東四丁目7番3号 TEL 0952 (32) 1243
ホームページアドレス : <https://sagarofuku.net/>

発行人 草場 義樹
編集人 待鳥 洋文

2024年 連合佐賀・佐賀県労福協共催「新年賀詞交歓会」開催

1月11日(木)佐賀市「ホテル マリターレ創世」において、新年賀詞交歓会を開催し、約110名の方にご参加いただきました。

昨年までは、佐賀県労福協が「新年旗開き」を開催していましたが、今年から連合佐賀と佐賀県労福協の共催により新年賀詞交歓会を開催しました。

開催に先立ち、年初に発生した能登半島地震の犠牲者に黙とうを捧げた後、主催者を代表して草場理事長(連合佐賀 会長)が「生活の安定・安心を求め、福祉運動と労働運動を車の両輪として進めていく」と挨拶を行い、引き続き、来賓の方々からご挨拶を頂き、宮崎副理事長の乾杯により開宴しました。

初の試みでしたが、参加者同士の交流を深めることが出来ました。



無料年金相談会日程

佐賀県労福協は県内勤務者とそのご家族の生活支援を目的に、2023年6月より社会保険労務士による無料年金相談会を開催しています。年金制度は複雑で、ひとそれぞれに内容が異なることから、年金に関することを社会保険労務士より親切・丁寧に説明します。ぜひこの機会にご相談ください。

社会保険労務士による無料年金相談会開催日程(要予約)

予約はこちらから→

2024年3月14日(木)午後4時30分～6時30分 ※2024年4月以降も開催します



相談事例

- ・年金請求書の書き方が分からない?
- ・年金の仕組みは?いつからもらえる?
- ・日本年金機構から届いた書類の見方が分からない?
- ・年金を早く受け取るとどうなる?
遅く受け取るとどうなる?
- ・国民年金は追納した方がいい?
- ・年金手続きのあと働き続けると私の年金はどうなる?
- ・配偶者が年金を受け取ると私の年金はどうなる?

違い馬頭

今年は年明けから、大変な年になった。被災された方々には、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げる。一刻も早い終息と復旧・復興を祈念したい。月日が経つのは速いもので、もう2月である。日本では如月(きさらぎ)の別名で呼ばれるのが一般的だが、梅見月(うめみづき)、雪消月(ゆきぎえづき)、木芽月(このめづき)などとも呼ばれる。他にも数種あるようだが、いづれにしても風流で趣を感じる。このように月ごとに様々な呼び名があるのも、日本に四季があるからだろう。南極や赤道直下の国ではこうはならない。しかし、日本の春夏秋冬も以前とは様相が変わってきているように感じる。昨年は、猛暑続きだったが、急にコートが必要になった。秋を感じることなく冬になったように感じた人

は私だけではないだろう。近年、世界各地で豪雨災害や異常気象などが頻繁に起こっており、開発という名の自然破壊や戦争という社会破壊など、好き勝手している人間への地球からの警告かもしれないとさえ感じる。

少し明るい話題に触れよう。今年は閏年、夏季オリンピックの年である。多くの種目で選手選考が行われている。先の大阪国際女子マラソンでは、天満屋の前田選手が19年ぶりに日本記録を更新した。名古屋ウィメンズマラソンの結果次第だが、限りなく内定といってよいだろう。パリでも更なる記録更新を期待したいし、もちろんメダルも。余談だが、天満屋の武富監督は、私と同じ、多久市の出身である。子供たちの陸上教室にも数回来ていただいた御縁もあり、天満屋の前田をしっかり応援したい。もちろん、他の日の丸選手も。(K・M)

佐賀県への要望書に関わる「回答書」受け取り

佐賀県への要望については労福協、佐賀労済生協及び生協連で取りまとめ2023年10月30日(月)に8項目(15点)を提出し、令和6年度予算編成及び県政への反映を求めました。

2023年12月26日(火)佐賀県市町会館大会議室において、要望書に対する「2024年度(令和6年度)(一社)佐賀県労働者福祉協議会要望に対する回答」を受領しました。

回答書の受け取りに際し労福協より草場理事長、また佐賀県から林産業労働部副部長よりそれぞれに挨拶を行い、その後、佐賀県担当課より回答内容について主旨説明を受け、重点要望項目を中心に意見交換を行いました。



佐賀県労福協「2023年度 研究集会」開催

「連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう」を開催テーマとして、2023年度労福協「研究集会」を2023年12月14日(木)佐賀市「四季彩ホテル 千代田館」にて開催し、関係団体より52名の参加を頂きました。

集会は2つの講演を中心に企画し、講演Iでは『佐賀県産業イノベーションセンターの活用について』と題して、公益財団法人佐賀県産業振興機構 総務部長 木村和久氏に講演いただき、中小企業勤労者福祉サービスセンターの活用方法について、わかりやすく説明して頂きました。

講演IIでは『相談事例から見た「相続問題の解決」について』と題して、労福協無料法律相談会担当弁護士の椿原剛氏に講演いただきました。

相続で争いになった事例と相続で争いにならなかった事例をあげ、あらかじめ筆証書遺言を作成することが重要であると説明されました。



チャリティゴルフコンペのチャリティ募金を「フードバンクさが」へ寄付

2023年11月16日(木)多久市の天山カントリークラブで開催した「第26回チャリティゴルフコンペ」のチャリティ募金(135,000円)について、2023年12月12日(火)に佐賀市の「特定非営利活動法人 フードバンクさが」へ寄付しました。

「フードバンクさが」では、生活困窮者支援団体と共同して、2021年よりクリスマスケーキを1人親家庭にプレゼントされています。今期もクリスマスケーキを心待ちにしている子ども達が多くいることから寄付先に選定しています。

「フードバンクさが」の干潟由美子理事長より、「希望の全世帯(282世帯)にクリスマスケーキを届けることが出来る」と謝辞を頂きました。



災害復興支援チャリティゴルフコンペのチャリティ募金を「佐賀災害支援プラットフォーム」へ寄付

2023年6月19日(月)多久市の天山カントリークラブで開催した「災害復興支援チャリティゴルフコンペ」のチャリティ募金(147,000円)について、2024年1月22日(月)に佐賀市の「一般社団法人 佐賀災害支援プラットフォーム」へ寄付しました。

2024年1月1日に、石川県能登地方で最大震度7の地震が発生しました。甚大な被害となっていることから、能登半島地震への支援活動をされている「佐賀災害支援プラットフォーム」を寄付先に選定しています。

「佐賀災害支援プラットフォーム」では、災害現場へ2名を派遣されており、情報収集のうえ、順次必要とされる支援活動に、寄付金が使われます。



九州ろうきんからのお知らせ

第20回九州ろうきん佐賀地区NPO助成フォーラムを開催

九州ろうきんでは、ボランティア預金「NPOパートナーズ」の寄付金と、九州ろうきんの拠出金を財源とした『NPO助成制度』を設けています。今年度は2023年9月から募集を行い、県内18の団体から応募がありました。審査委員会により6団体（継続助成1団体を含む）への助成が決定し、1月26日（金）佐賀市の佐賀県社会福祉会館にて、第20回佐賀地区NPO助成フォーラムを開催しました。

今年度助成団体へ助成金の贈呈を行い、昨年度助成団体からは、助成金による活動報告や現在取り組まれている活動の紹介がなされました。

ろうきんはNPOとのパートナーシップを築き、社会の中にあるさまざまな生活・福祉の課題をともに解決していくために、当NPO助成の他、“NPO事業サポートローン”や“NPOサポーターズ”などにより、NPOを支援しています。ろうきんの理念である「人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与する」ことを実践していくために、NPOと協働して社会貢献活動を展開しています。



(第20回九州ろうきん佐賀地区NPO助成団体一覧)

継続助成団体

NO	助成団体名	支援内容
1	NPO法人 フードバンクさが	県内に食品支援の拠点となるフードパントリー（食品倉庫）を開設し、食品等の提供を実施する

今年度助成団体

NO	助成団体名	支援内容
1	特定非営利活動法人 佐賀子ども支援の輪	企業、事業主、大学生ボランティア、一般（約30人程度）を対象にボランティア養成講座を年間3回開催し、協力を募り、生きづらさを抱えた子どもたちが自ら生きる力、自立への自信を醸成していく取り組みを行う
2	遊友クラブ 視覚障がい者と歩こう会	視覚障がい者の方々が、社会一般に活動の範囲を面として広げ、「明るく、楽しく、元気よく」活動を続けられることができるよう、視覚障がい者用の軽スポーツ関係の備品の整備を行う
3	一般社団法人 おもやい	佐賀県内で毎年のように続く被災地域を中心とした集落単位または地域団体での防災講座を開催
4	鹿島市SDGs 絵染&楽歩プロジェクト	鹿島市にある「臥竜ヶ丘公園」にて、鹿島市のSDGsに取り組む企業紹介やウォーキングイベントを開催する。当日はSDGsに因んだイラスト下地を石垣に作成し、子どもたちが塗り絵を行う
5	よりみちステーション	不登校の理解を当事者視点から深め、広める活動



九州ろうきん杯第45回佐賀県U-12 サッカー選手権大会が開催されました!

佐賀県本部では、社会貢献活動の一環として青少年の健全育成に携わることが目的に、佐賀県U-12サッカー選手権大会に協賛しています。今年度は72チームが参加し、昨年の12月17日から各地で熱戦が繰り広げられ、2月4日の決勝戦をもって全日程を終了しました。今大会の優勝・準優勝の2チームは3月2日から鹿児島県で開催される第55回九州U-12サッカー選手権大会に佐賀県代表として出場します。

また、3月初旬から佐賀県内のろうきん全店舗において、当大会の写真展を開催しますので、ご来店の際には子どもたちの躍動する姿をご覧ください。



小城多久地区労福協活動報告

2023年度の小城多久地区労働者福祉協議会の活動として、11月25日(土)に小城市まちなか市民交流プラザ ゆめぶらっと小城にて「生花を使ったフラワーアレンジメント」を開催し16名の方にご参加いただきました。

初めに講師の中尾先生より説明があり、その後に先生のアドバイスを受けながら作品制作に入りました。数種類の同じ生花を使用しているにも関わらず、同じ様な作品はなく皆さん個性あふれる作品を時間いっぱい一生懸命に制作して世界に一つだけの自分の作品が完成しました。最後に作品を持って最高の笑顔で記念撮影をして無事に終了しました。



今期からは新型コロナウイルス感染症も第5類となり、コロナ禍前と同様の活動がやっとできるようになりました。

皆さんも楽しみにされていることと思いますので、これからも幅広い年齢層の方が気軽に参加でき、楽しい時間を過ごすなかで労福協の知識を深め、皆さんと交流を図ることができる活動に取り組んでまいります。

佐賀県労福協「第39回 文化講演会」を開催

2024年1月27日(土)佐賀市「ホテル マリタール創世」において、「労福協第39回文化講演会」を開催しました。講師に本間悠氏を招き「夢の本屋ができるまで」という演題で、178名の方々に聴講頂きました。本間悠氏は幼少期から読書が好きで、勤務した書店で手書きポップや装飾ディスプレイを駆使した売場をつくり、全国の書店員や出版関係者から注目を集めています。



今回の講演では、直木賞作家の今村翔吾さんとタッグを組んで「駅ナカ書店」を復活させるまでの道のりや本との付き合い方を語っていただきました。また、講師の信念として、「本が、人生を豊かにすると信じています。」と語っていただきました。

聴講された方々も大変満足いただけた講演会となっています。

無料法律相談会日程

労福協では県内勤労者とその家族の生活支援を目的に、弁護士による無料法律相談会を毎月1回日曜日に開催しています。3月以降の日程は記載の通りとなりますので、多重債務、相続、奨学金、生活全般の困りごとなど法律問題でお困りの方は、一人で悩まずぜひこの機会にご相談ください。

0120 0120-931-536

弁護士による無料法律相談会開催日程 (要予約)

第136回 2024年 3月10日(日)午後1時~4時

第137回 2024年 4月14日(日)午後1時~4時

*2024年5月以降も開催します。

こくみん共済 NEWS 7923A017

運転免許を取ったら

カーライフを応援する、頼れる補償

マイカー共済

自動車総合補償共済

WEBで簡単お見積もり!

こちらから!

公式キャラクター ビットくん

共済ショップ 佐賀店

〒840-0054 佐賀市水ヶ江2-2-19
TEL:0952-41-1331

営業時間 月~金 9時~17時 土曜 10時~16時
※土曜(第2・4土曜以外)日・祝日・年末年始は休業

こくみん共済 佐賀推進本部

共済ショップに関する詳細は、
当会ホームページをご確認ください。
<https://www.zenrosai.coop>

たすけあいから生まれた
保障の生協です

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。